

校長室通信

小国町立小国中学校

令和4.10.21(金)No20

文責 狭間卓史



「次の坂」

10月1日(土)、熊本県中体連陸上競技大会が熊本市の「えがお健康スタジアム」で開催され、本校から11人の生徒が阿蘇郡市代表として出場しました。

大会直前の一週間は修学旅行や台風に伴う大雨で、コンディションを整える難しさがあったようです。

阿蘇郡市大会という一つの坂を登り切ったら、その先には次の坂が待っていたという感じでしょうが、それでも、この経験は、坂を登り切った者にしか見ることが出来なかった景色です。

この経験は出場した11人はもちろんのこと、本校陸上部を更なる高みにきっと導いてくれるはず。より速く、より高く、より遠くへ挑み続けてください。



【全力】

「明日を拓く」

12日(水)、「北里柴三郎記念館」館長の北里英郎先生を講師としてお招きし、キャリア教育学習会を実施しました。

北里英郎先生は柴三郎博士のひ孫にあられる方で、ご自身も医学の道に進まれ、今年の6月まで東京の北里大学で副学長をしていらっしゃいました。そして、退職後の現在でも、同大学の名誉教授をつとめていらっしゃいます。

日頃は「北里柴三郎記念館」の館長をしながら、大学で講義等があれば東京に行くという日々を過ごしていらっしゃいます。

柴三郎博士は若い頃、海外に学ばれ、その研究が多くの人々の命を救うことにつながりますが、英郎先生も若い頃、海外に9年間留学された経験をお持ちです。

この講演会では英郎先生のご経験を紹介いただくとともに、英郎先生を通じて、柴三郎博士の教えにも触れる機会となりました。

本校生徒も、すでに自分の将来の目標を具体的に持っている生徒もいますが、まだまだこれから考えますという生徒の方が多くいます。自分の目標に近づくために、あるいは、自分の夢を見つけるために、中学時代の今、何をすべきか、考えるきっかけになってくれたらと願うばかりです。



【北里英郎 館長】



【久しぶりの全校生徒での学習でした】

「日台友好のバナナ」

学校法人神戸学園グループ総長の 蔣惠萍 様から台湾と日本の友好関係の発展を願った「台湾バナナ」の寄贈がありました。日本と台湾はコロナ禍や地震等の災害時にお互いに助け合ってきたつながりがありますが、これからもその良好な関係をより強く築いていきたいものです。本校でも早速、給食時にいただきましたが、生徒にとって台湾が一段と近く感じる機会となりました。



【台湾バナナ おいしかったです】

※この通信のカラー版は、「小国中学校ホームページ」でご覧いただけます。